

銅合金の鑄鍛造メーカーである三芳合金工業（本社・埼玉県三芳町、社長・萩野茂雄氏）は8日、工場の倉庫を改装した特設ステージで第2回みよしの森音楽会を開催した。今回は弦楽四重奏に加え、和太鼓やシンセサイザーなどの演目も披露された。従業員や家族、近隣の住民など100人以上が詰め掛ける盛況ぶり。終了後にはバーベキュー大会も行われた。作

三芳合金 工場倉庫で音楽会



近隣住民含め100人参加

り手、観客ともに地域と萩野源次郎取締役は「今一体になったイベント。回は初めて近隣の人たち幅広い観客を楽しませた。」

シenseサイザーでは近隣で工場を営む三角隆義さんが、楽団のピアニストとしても活躍する腕前を披露した。さらに製造課の高井三男さんが名誉会長を務める和太鼓チーム、武威太鼓は迫力満点の演奏で会場を圧倒し、活躍する奏者がパッヘルベルのカノンやスタジオリブリの映画音楽などを

に來てもらった。きれいな音色で普段の恩返しができるばと話している。昨年行われた第1回に続きバイオリンやヴィオラ、チェロで構成される弦楽四重奏では世界的に活躍する奏者がパッヘルベルのカノンやスタジオリブリの映画音楽などを

